２　自治体の地域づくりの担い手及び担い手の育成状況に関するクロス集計

ここでは、「自治体の地域づくりの担い手及び担い手の育成状況」と「教育委員会における地域づくりに関する事業の状況（問３）」「社会教育担当者と地域づくりに関する団体・機関及び育成事業の参加者との関係（問４、問５）」「『学び』と『活動』のつながりの構築の工夫（問６）」のクロス集計結果について記載する。

このうち、「社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問４、問５）」については、「関係が良い団体が多い」と「関係が良い団体が少ない」という分類を行うため、※１に示すデータの加工を行った。

また、「『学び』と『活動』のつながりの構築の工夫（問６）」については、「工夫が多い」と「工夫が少ない」という分類を行うため、※２に示すデータの加工を行った。

なお、本調査は悉皆調査であるが、測定誤差等を考慮し、統計的仮説検定を実施している。実施にあたっては、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターの協力を得た。図表中に「**」がついている項目は、5%水準（$p<0.05$）で有意差が認められたものである（χ^2値やｔ値などの統計量は省略した）。算出に際しては、「わからない」といった回答や無回答は、すべて除外されている。

※１　「社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問４、問５）」

問４及び問５の各項目について「すべての団体が該当する」「半数以上の団体が該当する」「割合は少ないが該当する団体がある」を「該当する団体がある」とし、その数をカウントし、平均値以上（27 以上）を「関係が良い団体が多い」、平均値未満（27 未満）を「関係が良い団体が少ない」として分析する。項目総数は 90、平均値は 26.9 である。

なお、問４及び問５の各設問のうち、問４「ほとんど連絡を取り合っていない」「ほとんど顔を合わせる機会はない」「どちらにも当てはまらない（連絡を取る機会、直接会う機会）」、問５「ほとんど交流がない」の項目についてはカウントする項目から除外した。

※２　「『学び』と『活動』のつながりの構築の工夫（問６）」

問６の各項目について「行っている」と答えた数をカウントし、平均値以上（８以上）を「工夫が多い」、平均値未満（８未満）「工夫が少ない」として分析する。項目総数は 21、平均値は 7.9 である。

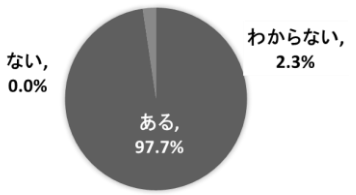
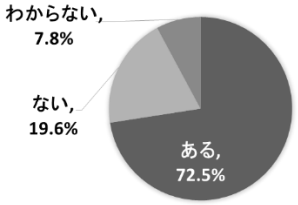
（１）問１　自治体内において地域づくりの活動を行っている団体の有無

・教育委員会の地域づくりの担い手育成事業の有無（問３）

自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無との関係については、教育委員会で担い手づくりの育成事業を行っている方が、自治体に地域づくりの活動を行っている団体がある割合が 25.2 ポイント高い。

【図表 2-2-2-1】「問３担い手育成事業の有無」と「問１自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無」のクロス集計（χ^2検定による）

（凡例：■…ある、■…ない、■…わからない）

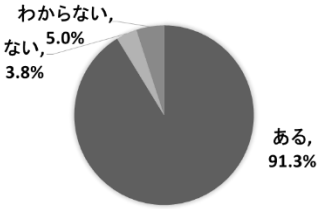
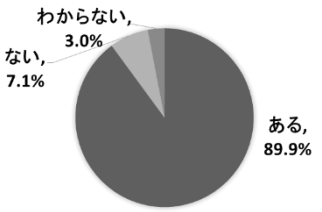
	事業あり（n=128）	事業なし（n=51）
自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無**		

・社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問４及び問５）

自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無との関係については、関係が良い団体が多い方が 1.4 ポイント高い。

【図表 2-2-2-2】「社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係」と「問 1 自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無」のクロス集計

（凡例：■…行っている、■…行っていない、■…わからない）

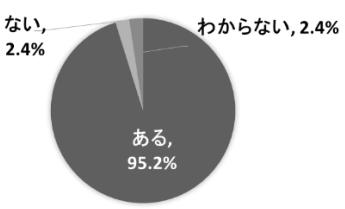
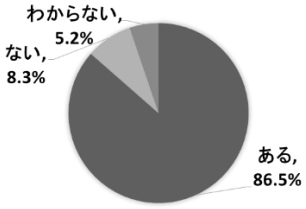
	関係が良い団体が多い（n=80）	関係が良いが少ない（n=99）
自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無		

・「学び」と「活動」のつながりの構築の工夫（問６）

自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無との関係については、工夫が多い方が自治体に地域づくりの活動を行っている団体がある割合が 8.7 ポイント高い。

【図表 2-2-2-3】「『学び』と『活動』のつながりの構築の工夫」と「問 1 自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無」のクロス集計

（凡例：■…行っている、■…行っていない、■…わからない）

	工夫が多い（n=83）	工夫が少ない（n=96）
自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無		

（２）活動を行っていることを確認している団体等（問 1-1）

・教育委員会の地域づくりの担い手育成事業の有無（問３）

活動を行っていることを確認している団体等との関係については、教育委員会で担い手づくりの育成事業を行っている方が、全般的に団体数は多い。特に「⑥自治会（町内会）」（20.8 ポイント差）、「①構成員の学習・向上を主とする団体」（19.3 ポイント差）で大きな差がみられる。

【図表 2-2-2-4】「担い手育成事業の有無（問 3）」と「自治体内で地域づくりの活動をしている団体の数の平均（問 1-1）」のクロス集計（独立したサンプルのt検定による）

団体の種別	事業あり（n=128）	事業なし（n=51）
①子ども会、PTA、趣味・学習サークル等、構成員の学習・向上を主とする団体	38.9 団体	19.6 団体
②青年団体、女性団体等、構成員の学習・向上とともに対外的な社会教育事業を行う団体**	4.8 団体	2.8 団体
③体育・レクリエーション等の振興を図る団体等、もっぱら対外的な社会教育事業を行う団体**	16.2 団体	6.4 団体
④市町村社会福祉協議会等社会福祉関係団体	4.3 団体	2.5 団体
⑤社会教育委員の会、生涯学習審議会等	1.4 団体	1.4 団体
⑥自治会（町内会）**	46.9 団体	26.1 団体
⑦地域課題に取り組む NPO、ボランティア団体等	5.5 団体	5.8 団体
⑧専修学校、大学等**	1.4 団体	1.0 団体
⑨その他	3.7 団体	20.0 団体

・社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問４及び問５）

活動を行っていることを確認している団体等との関係については、「関係が良い団体が多い」方が、ほとんどの項目で団体数が多い。特に「①構成員の学習・向上を主とする団体」（23.1 ポイント差）で大きな差がみられる。「関係が良い団体が少ない」方が団体数の多い項目は、「⑦地域課題に取り組む NPO、ボランティア団体等」である。

【図表 2-2-2-5】「社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問 4 及び問 5)」と「自治体内で地域づくりの活動をしている団体の数の平均（問 1-1)」のクロス集計（独立したサンプルのt検定による）

団体の種別	関係が良い団体が多い（n=80）	関係が良い団体が少ない（n=99）
①子ども会、PTA、趣味・学習サークル等、構成員の学習・向上を主とする団体**	47.1 団体	24.0 団体
②青年団体、女性団体等、構成員の学習・向上とともに対外的な社会教育事業を行う団体**	5.2 団体	3.7 団体
③体育・レクリエーション等の振興を図る団体等、もっぱら対外的な社会教育事業を行う団体	17.3 団体	11.0 団体
④市町村社会福祉協議会等社会福祉関係団体	3.9 団体	4.0 団体
⑤社会教育委員の会、生涯学習審議会等	1.4 団体	1.5 団体
⑥自治会（町内会）	46.5 団体	38.2 団体
⑦地域課題に取り組む NPO、ボランティア団体等	4.3 団体	7.4 団体
⑧専修学校、大学等	1.3 団体	1.4 団体
⑨その他	3.4 団体	7.8 団体

・「学び」と「活動」のつながりの構築の工夫（問６）

活動を行っていることを確認している団体等との関係については、工夫が多い方が、ほとんどの項目で団体数は多い。特に「①構成員の学習・向上を主とする団体」（18.2 ポイント差）で大きな差がみられる。関係が良い団体が少ない方が団体数の多い項目は、「⑦地域課題に取り組む NPO、ボランティア団体等」である。

【図表 2-2-2-6】「『学び』と『活動』のつながりの構築の工夫（問 6)」と「自治体内で地域づくりの活動をしている団体の数の平均（問 1-1)」のクロス集計（独立したサンプルのt検定による）

団体の種別	工夫が多い（n=83）	工夫が少ない（n=96）
①子ども会、PTA、趣味・学習サークル等、構成員の学習・向上を主とする団体	43.6 団体	25.4 団体
②青年団体、女性団体等、構成員の学習・向上とともに対外的な社会教育事業を行う団体	4.9 団体	4.0 団体
③体育・レクリエーション等の振興を図る団体等、もっぱら対外的な社会教育事業を行う団体	17.4 団体	10.4 団体
④市町村社会福祉協議会等社会福祉関係団体	3.4 団体	4.6 団体
⑤社会教育委員の会、生涯学習審議会等	1.5 団体	1.4 団体
⑥自治会（町内会）**	48.7 団体	35.5 団体
⑦地域課題に取り組む NPO、ボランティア団体等	4.8 団体	6.5 団体
⑧専修学校、大学等	1.1 団体	1.5 団体
⑨その他	3.8 団体	9.9 団体

（３）団体等が行っている活動の種別（問 1-2）

ここでは、問 1-2 の回答について活動の種別に対して「該当する団体等がある」「該当する団体等はない」「無回答」の３分類にするため、回答の選択肢としてあった「全ての団体が該当する」「半数以上の団体等が該当する」「割合は少ないが該当する団体等はある」の３つを「該当する団体等がある」として記載する。

・教育委員会の地域づくりの担い手育成事業の有無（問３）

団体が行っている活動種別との関係については、「教育委員会で担い手づくりの育成事業を行っている方」が、「⑩その他」以外の項目で「該当する団体がある」との回答が多い。特に「⑨まちづくりに参画する活動」（24.4 ポイント差）と「⑥地域の魅力の情報発信活動等」（22.2 ポイント差）の差が大きい。

【図表 2-2-2-7】「問 3 担い手育成事業の有無」と「問 1-2　団体が行っている活動」のクロス集計

（凡例：■…該当する団体等がある、■…該当する団体等はない、■…無回答）

活動の種別	事業あり（n=128）	事業なし（n=51）
①防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動	86.4% 7.2% 6.4%	70.3% 10.8% 18.9%
②高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動	74.4% 15.2% 10.4%	59.5% 18.9% 21.6%
③学校行事の支援、子どもや若者の育成活動	89.6% 3.2% 7.2%	86.5% 8.1% 5.4%
④スポーツや学習の支援や指導などに関する活動	84.8% 6.4% 8.8%	73.0% 10.8% 16.2%
⑤祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動	88.0% 4.8% 7.2%	83.8% 8.1% 8.1%
⑥「インターネット上のホームページやブログなどを活用した地域の魅力の情報発信活動」、「地場産品の開発、販売、宣伝活動」、「観光客の受入れ、おもてなし、案内などの活動」、「商店街の活性化など地域おこしに関わる活動」	60.0% 30.4% 9.6%	37.8% 40.5% 21.6%
⑦川や海、森林など地域の自然環境を保全する活動	58.4% 28.8% 12.8%	37.8% 35.1% 27.0%
⑧山村留学、島留学、農山漁村体験などの他地域との交流活動	32.0% 52.8% 15.2%	21.6% 51.4% 27.0%
⑨地域における都市計画づくりなど、まちづくりへ参画する活動	56.8% 30.4% 12.8%	32.4% 45.9% 21.6%
⑩その他	7.2% 33.6% 59.2%	13.5% 27.0% 59.5%

・社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問 4 及び問 5）

団体が行っている活動種別との関係については、「関係が良い団体が多い」方が、「⑩その他」以外の項目で「該当する団体がある」との回答が多い。特に「⑦川や海、森林など地域の自然環境を保全する活動」(29.5 ポイント差) と「⑥地域の魅力の情報発信活動等」（24.7 ポイント差）の差が大きい。

【図表 2-2-2-8】「社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問 4 及び問 5)」と「問 1-2　団体が行っている活動」のクロス集計（Mann-Whitney の U 検定による）

（凡例：■…該当する団体等がある、■…該当する団体等はない、■…無回答）

活動の種別	関係が良い団体が多い（n=80）	関係が良い団体が少ない（n=99）
①防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動	90.4% 6.8% 2.7%	76.4% 9.0% 14.6%
②高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動	80.8% 15.1% 4.1%	62.9% 16.9% 20.2%
③学校行事の支援、子どもや若者の育成活動	97.3% 2.7% 0.0%	82.0% 5.6% 12.4%
④スポーツや学習の支援や指導などに関する活動**	93.2% 2.7% 4.1%	73.0% 11.2% 15.7%
⑤祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動	95.9% 2.7% 1.4%	79.8% 7.9% 12.4%
⑥「インターネット上のホームページやブログなどを活用した地域の魅力の情報発信活動」、「地場産品の開発、販売、宣伝活動」、「観光客の受入れ、おもてなし、案内などの活動」、「商店街の活性化など地域おこしに関わる活動」	68.5% 27.4% 4.1%	43.8% 37.1% 19.1%
⑦川や海、森林など地域の自然環境を保全する活動**	69.9% 24.7% 5.5%	40.4% 34.8% 24.7%
⑧山村留学、島留学、農山漁村体験などの他地域との交流活動	39.7% 52.1% 8.2%	21.3% 52.8% 25.8%
⑨地域における都市計画づくりなど、まちづくりへ参画する活動	63.0% 32.9% 4.1%	41.6% 34.8% 23.6%
⑩その他	4.1% 34.2% 61.6%	12.4% 30.3% 57.3%

・「学び」と「活動」のつながりの構築の工夫（問６）

団体が行っている活動種別との関係については、「工夫が多い方」が「⑩その他」以外の項目で「該当する団体がある」との回答が多い。特に「⑥地域の魅力の情報発信活動等」（36.1 ポイント差）と「⑨まちづくりに参画する活動」（26.0 ポイント差）の差が大きい。

【図表 2-2-2-9】「『学び』と『活動』のつながりの構築の工夫」と「問 1-2　団体が行っている活動」のクロス集計
（Mann-Whitney の U 検定による）

（凡例：■…該当する団体等がある、■…該当する団体等はない、■…無回答）

活動の種別	工夫が多い（n=83）	工夫が少ない（n=96）
①防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動	91.1% / 7.6% / 1.3%	74.7% / 8.4% / 16.9%
②高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動	78.5% / 17.7% / 3.8%	63.9% / 14.5% / 21.7%
③学校行事の支援、子どもや若者の育成活動	96.2% / 1.3% / 2.5%	81.9% / 7.2% / 10.8%
④スポーツや学習の支援や指導などに関する活動	92.4% / 3.8% / 3.8%	72.3% / 10.8% / 16.9%
⑤祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動	94.9% / 2.5% / 2.5%	79.5% / 8.4% / 12.0%
⑥「インターネット上のホームページやブログなどを活用した地域の魅力の情報発信活動」、「地場産品の開発、販売、宣伝活動」、「観光客の受入れ、おもてなし、案内などの活動」、「商店街の活性化など地域おこしに関わる活動」**	73.4% / 22.8% / 3.8%	37.3% / 42.2% / 20.5%
⑦川や海、森林など地域の自然環境を保全する活動	65.8% / 27.8% / 6.3%	42.2% / 32.5% / 25.3%
⑧山村留学、島留学、農山漁村体験などの他地域との交流活動	38.0% / 54.4% / 7.6%	21.7% / 50.6% / 27.7%
⑨地域における都市計画づくりなど、まちづくりへ参画する活動**	64.6% / 30.4% / 5.1%	38.6% / 37.3% / 24.1%
⑩その他	7.6% / 32.9% / 59.5%	9.6% / 31.3% / 59.0%

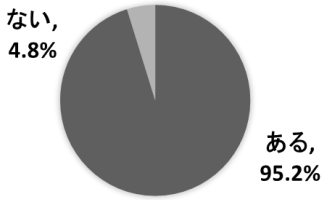
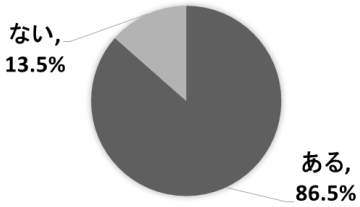
（４）団体等と教育委員会が連携した事業の有無（問 1-3）

・教育委員会の地域づくりの担い手育成事業の有無（問３）

団体等と教育委員会が連携した事業の有無との関係については、「教育委員会で担い手づくりの育成事業を行っている」方が、団体等と連携している割合が 8.7 ポイント高い。

【図表 2-2-2-10】「問 3 担い手育成事業の有無」と「問 1 自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無」のクロス集計

（凡例：■…ある、■…ない、■…わからない）

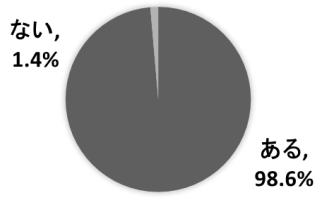
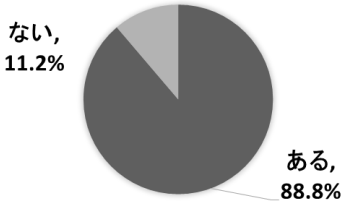
	事業あり(n=128)	事業なし(n=51)
団体等と教育委員会が連携した事業の有無		

・社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問４及び問５）

団体等と教育委員会が連携した事業の有無との関係については、「関係が良い団体が多い」方が、団体等と連携している割合が 9.8 ポイント高い。

【図表 2-2-2-11】「社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係」と「問 1 自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無」のクロス集計
（χ^2検定による）

（凡例：■…ある、■…ない、■…わからない）

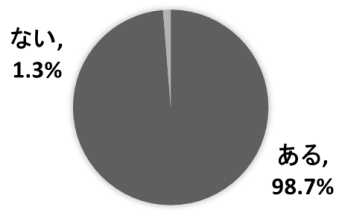
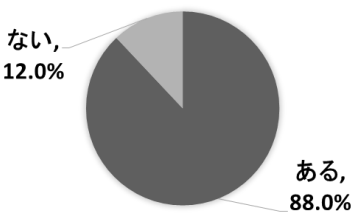
	関係が良い団体が多い(n=80)	関係が良いが少ない(n=99)
団体等と教育委員会が連携した事業の有無**		

・「学び」と「活動」のつながりの構築の工夫（問６）

団体等と教育委員会が連携した事業の有無との関係については、「工夫が多い」方が、団体等と連携している割合が 10.7 ポイント高い。

【図表 2-2-2-12】「『学び』と『活動』のつながりの構築の工夫」と「問 1 自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無」のクロス集計
（χ^2検定による）

（凡例：■…ある、■…ない、■…わからない）

	工夫が多い(n=83)	工夫が少ない(n=96)
団体等と教育委員会が連携した事業の有無**		

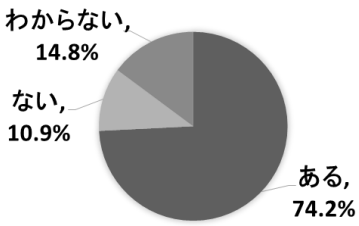
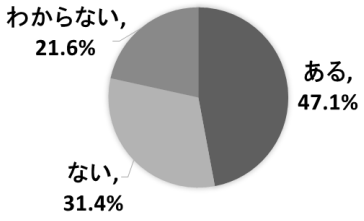
（５）部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無（問２）

・教育委員会の地域づくりの担い手育成事業の有無（問３）

部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無との関係については、「教育委員会で担い手づくりの育成事業を行っている」方が、部局で担い手育成の事業を行っている割合が 27.1 ポイント高い。

【図表 2-2-2-13】「問 3 担い手育成事業の有無」と「問 2 部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無」のクロス集計（χ^2検定による）

（凡例：■…ある、■…ない、■…わからない）

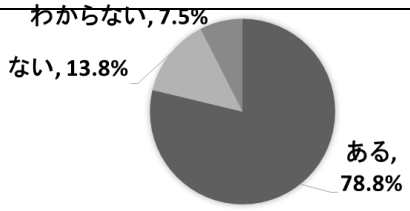
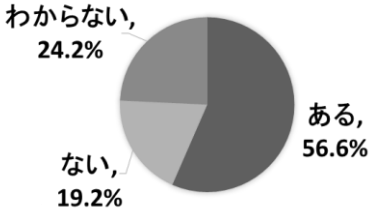
	事業あり(n=128)	事業なし(n=51)
部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無**		

・社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問４及び問５）

部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無との関係については、「関係が良い団体が多い」方が、部局で担い手育成の事業を行っている割合が 22.2 ポイント高い。

【図表 2-2-2-14】「社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係」と「問 2 部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無」のクロス集計

（凡例：■…ある、■…ない、■…わからない）

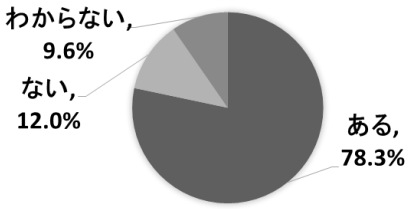
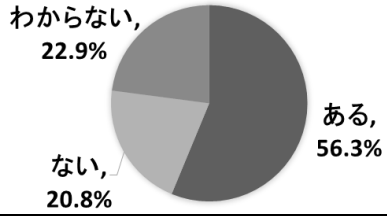
	関係が良い団体が多い(n=80)	関係が良いが少ない(n=99)
部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無		

・「学び」と「活動」のつながりの構築の工夫（問６）

部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無との関係については、「工夫が多い方」が、部局で担い手育成の事業を行っている割合が 22.0 ポイント高い。

【図表 2-2-2-15】「『学び』と『活動』のつながりの構築の工夫」と「問 2 部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無」のクロス集計（χ^2検定による）

（凡例：■…ある、■…ない、■…わからない）

	工夫が多い(n=83)	工夫が少ない(n=96)
部局で行われている地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の有無**		

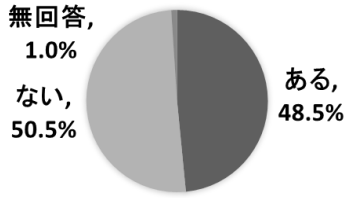
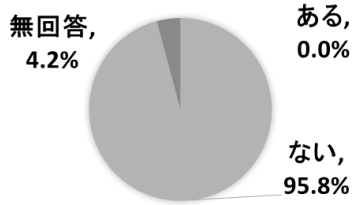
（６）部局と教育委員会が連携した事業の有無（問 2-2）

・問３　教育委員会の地域づくりの担い手育成事業の有無（問３）

部局と教育委員会が連携した事業の有無との関係については、「教育委員会で担い手づくりの育成事業を行っていない」場合、部局と教育委員会が連携している事業はない。

【図表 2-2-2-16】「問 3 担い手育成事業の有無」と「問 2-2 部局と教育委員会が連携した事業の有無」のクロス集計
（χ^2検定による）

（凡例：■…ある、■…ない、■…無回答）

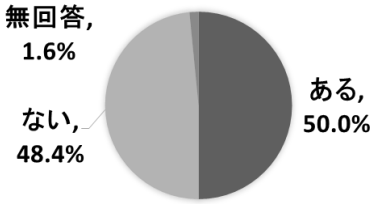
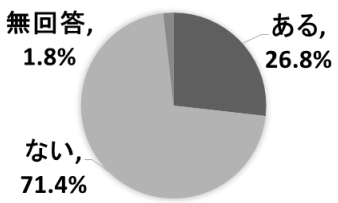
	事業あり(n=128)	事業なし(n=51)
部局と教育委員会が連携した事業の有無**		

・社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係（問４及び問５）

部局と教育委員会が連携した事業の有無との関係については、「関係が良い団体が多い」方が、部局と教育委員会が連携している事業がある割合が 23.2 ポイント高い。

【図表 2-2-2-17】「社会教育担当者と地域づくりに関係する団体等との関係」と「問 2-2 部局と教育委員会が連携した事業の有無」のクロス集計
（χ^2検定による）

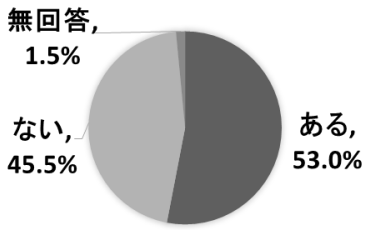
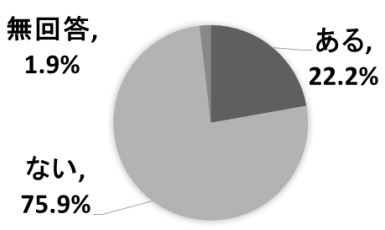
（凡例：■…ある、■…ない、■…無回答）

	関係が良い団体が多い(n=80)	関係が良いが少ない(n=99)
部局と教育委員会が連携した事業の有無**		

・「学び」と「活動」のつながりの構築の工夫（問６）

部局と教育委員会が連携した事業の有無との関係については、「工夫が多い」方が、部局と教育委員会が連携している事業がある割合が 30.8 ポイント高い。

【図表 2-2-2-18】「『学び』と『活動』のつながりの構築の工夫」と「問 2-2 部局と教育委員会が連携した事業の有無」のクロス集計
（χ^2検定による）

（凡例：■…ある、■…ない、■…無回答）

	工夫が多い(n=83)	工夫が少ない(n=96)
部局と教育委員会が連携した事業の有無**